

2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【大津市 目標】

- 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善
- 一人一人を大切にしたい子どもが達成感をもてる授業づくり

【学校 目標】

- 生徒が本当に「わかった。できた！」と実感できる授業づくり
- 生徒同士が教え合い、学び合える授業づくり

【現状と課題】

- (H30全国学力・学習状況調査の結果より)
- 国語・数学・理科すべての平均正答率は全国平均を上回っている。
 - 国語では「漢字の書き取り」や「話すこと・聞くこと」の正答率が低く、数学では関数関係を捉え、数学的に解釈し、問題解決を行うことに課題があり、理科では主として「知識」に関する問題の正答率が低い現状である。語彙力を高め漢字の定着を図り、どの教科においても自分の言葉を使って説明したり表現したりする場面を設定し思考力、判断力、表現力を身に付けさせる必要がある。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の里親制度(個別学習支援)や定期テスト事前補充・質問教室を開講し、学習のつまずきに対するきめ細かな支援を実施し、基礎・基本の定着を図る。 ・学習習慣を身につけさせるため各教科から計画的な課題(宿題)を与え家庭での主体的な学習を充実させ、課題(宿題)を活用した授業を行う。 ○「全校一斉朝読書」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見に耳を傾け、自ら考えを持ち、心落ち着かせて1日の学習に臨む姿勢や学習習慣を築く。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学び合い」学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の育成を図るため、毎授業で課題を設定し、話し合い教え合う時間を確保し、聞く姿勢や発表・伝え合う工夫を習得させる。 ・生徒同士が教え合い、学び合える授業づくりを推進するとともに、学習集団に互いの発言を認め合う支持的風土を醸成し、どの生徒も学習に参加でき、自尊感情の高まる学級づくりを推進する。 ○道徳的実践力をつける道徳教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・全教員による道徳の授業 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員の授業力の向上を図るOJTの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーを核として若手教員の力量を高めるとともに、ベテラン教員の豊富な経験を生かしながら全ての教員の授業力の向上を図る。 ○教師が学び合い、同僚性を高める校内研究の実施(年間8回授業参観、授業研) <ul style="list-style-type: none"> ・座席配置、グループ学習、ふり返りの支援等全教科全学年で取り組む

その他 取組事項

- (視点2) ○豊かな心を育む体験学習の充実
- ・地域の自然や文化財に触れる体験学習や講師を招いての福祉体験学習や国際理解学習の定着

取組の評価

	取組事項	評価指標	1回目	2回目
			評価	評価
視点1	家庭学習の定着を図る取り組み	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか[生徒質問紙] 45%		
視点2	「学び合い」学習の推進	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか 65%		
視点3	教師が学び合い、同僚性を高める校内研究の実施	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり検討したりしていますか 50%		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上89%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】

今年度の課題	次年度への対応策